

〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕

担当課・係名	消防本部総務課 消防係【問合せ・質問等の先（電話・内線番号） 446番】
第4次総合計画の 該当項目	2節7項 <u>効率的消防体制の確立</u>

業務の名称	消防施設整備			
(1)根拠法令・条例	消防組織法、消防水利の基準、消防力の整備指針			
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の 16.5 % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数：40人・日 (臨時雇用者延人数：__人・日)			
(3)事業費 (人件費分を除く)	23,060千円 (平成20年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する))			
(4)補助率(補助金がある 場合のみ記載)	__ % (平成20年度実績)			
(5)業務期間	開始した年度	昭和55年度	終了(予定)年度	年度

(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)

① 業務目的 (達成目標)	消防責務を果たすために必要な施設整備に取り組む。																																														
②業務が対象とする住民 (地域、層)	町民全体																																														
③業務の具体的な実施内容・方法 (平成20年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 65ミリ消火栓の設置 ・ 消防車両等の整備計画の見直し 																																														
④業務の実施結果 (平成20年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防水利が充足していない場所に65ミリ消火栓を設置することにより、消火活動が有効にできるよう計画を進めた。 ・ 消防車両の安全活用のため、車両等の整備計画を見直し、整備及び更新を計画的に見直した。 																																														
	<p>【業務結果の説明指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度</th> <th>20年度 実績</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>65ミリ消火栓設置 940千円</td> <td>1基</td> <td>1基</td> <td>1基</td> <td>1基</td> <td>年1基</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>消防水利整備 (耐震性貯水槽設計委託) 997千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2基分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>消防車両等の整備 14,700千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標	1	65ミリ消火栓設置 940千円	1基	1基	1基	1基	年1基	2	消防水利整備 (耐震性貯水槽設計委託) 997千円				2基分		3	消防車両等の整備 14,700千円				1台		4							5					
結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標																																									
1	65ミリ消火栓設置 940千円	1基	1基	1基	1基	年1基																																									
2	消防水利整備 (耐震性貯水槽設計委託) 997千円				2基分																																										
3	消防車両等の整備 14,700千円				1台																																										
4																																															
5																																															

(7) 遂行上の問題点、取組課題 (簡条書きで簡潔に記載)

- ・ 65ミリ消火栓の充足が出来ていない場所は、水道配管口径が消火栓を設置出来る口径 (150ミリ以上) を満たしていないことから、今後充足率の向上は、65ミリ消火栓設置条件の水道配管布設換えが必要となる。
- ・ 消防車両等の整備は、安全かつ効率的に活用できるよう車両更新計画を毎年見直すことが必要である。

(8) 改善実績 (過去4年間の実績)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 65ミリ消火栓設置は、毎年1基設置している。 ・ 消防車両等の整備計画の車両更新は計画的に見直している。 	

(9) 業務の評価 (自己診断)		
評価基準	評価の視点	三段階評価 (2~0点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	2点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	2点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	1点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	1点
⑤総合計画との整合	総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。	2点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	2点
2点: 成果あり、適切だった 1点: ある程度適切だった 0点: 適切でなかった、遅れている		平均 1.5点

(10) 総合評価 (課の見解)	
①今後の方向 (該当番号に○印)	<ul style="list-style-type: none"> ①. 前年度と同じく、そのまま継続する。 ②. 見直して継続(業務の拡大) ③. 見直して継続(業務の縮小) ④. 見直して継続(方法の改善) ⑤. 見直して継続(他業務と統合) ⑥. 廃止する。 ⑦. 休止する。
②評価理由	計画に基づいた事業が実施できた。

(11) 今後の目標・改善方針 (具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること)	
①改善目標	消防広域化を視野に入れ、計画的に整備を進めていく必要がある。
②改善時期	未定
③改善方法	